国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

家康公四百年祭

平成 27 年 3 月 27 日
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

春の雄大な富士山と清水港の景観にうっとり！
～家康公顕彰４００年清水港見学会を開催～

1．概要

平成27年3月26日、県内の皆さまを対象とした清水港見学会を開催しました。

当日は、清水港は晴天に恵まれ、ご家族やお孫さんを連れた年配の方など、遠く浜松や三島などから約150名のご参加をいただきました。

今年、没後400年を迎える徳川家康は、清水港と深い関わりがあります。清水湊は、駿府城の修築・修理のための石材をはじめ多くの物資が、巴川河口を利用し、駿府城まで運ばれていたなど、徳川家康に関わる多くの歴史が清水にあります。

現在の清水港は、日本の経済にとって重要な国際拠点港湾として位置づけられ、その中で最も面積が小さい港でありながら活力に富み、コンテナターミナルやエネルギー関連施設、チップ、穀物などのバラ貨物を扱う施設など様々な役割を持った施設が配置されています。

参加者の皆さんは、普段見られない海からの清水港の様子を見学しながら、地域の発展と共にその姿を変えてきた清水港の歴史や徳川家康と清水港の関わりについての説明に耳を傾け、約１時間の港内見学を楽しんでいらっしゃいました。

2．当日のスケジュール

日時　：平成27年3月26日(木)
場所　：マリンパーク及びベイプロムナードの船上など港内

８：３０～　９：１０	受付(船着き場)
８：４５～	乗船開始(ベイプロムナード)
９：１５～　９：３０	開会挨拶・説明
９：３０～１０：３０	清水港海上見学(船上)【60分】
１０：３０～１０：４０	下船
１０：４０～１１：００	閉会挨拶・記念写真撮影(船着き場)

3．配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

4．問合せ先

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長　野村貴之（のむらたかゆき）
ＴＥＬ：054-352-4148　　ＦＡＸ：054-353-3072
E-mail：shimizu-kikaku@pa.cbr.mlit.go.jp

〇添付資料

当日以下の資料を配布し、この資料の内容と共に港内の施設について解説しました。

- 徳川家康と清水湊(表面)
- 徳川家康が育ち、愛した湊まち「清水」(裏面)
- 航空写真で見る清水港の変化(表面)
- 地図で見る清水港の変化(裏面)
- 昔の清水港の様子(表面)
- 現在の清水港の様子(裏面)

〇見学の様子

＜ベイプロムナード号船室から港内を見学＞

＜屋上からコンテナ荷役状況見学＞

＜屋上から LNG 船を見学＞

＜清水港視察後　記念写真撮影の様子＞

【参加者の感想】

- 「海から港の風景を見るのは初めての事で楽しかった。昔の事がよみがえってきました。」
- 「地元ですが、知らないことが多く、家で資料をもう一度読み、勉強したいと思います。」
- 「コンテナの荷役を船上から見学し、昔の資料を頂くことができてうれしかったです。」
- 「徳川家康との繋がりを知り、とても面白かったです。」
- 「富士山を眺めながら、清水港を見て、外国船の大きさや徳川家康に関する事を学ぶことができました。」

徳川家康と清水湊

伝説やエピソード

～清水湊がなければ駿府の発展はありえなかった～

徳川家康の駿府大御所時代に清水湊は、巴川を利用した湊で駿府の外港として発展していました。この辺りを清水町と呼んだことから、江尻湊から清水湊と呼ばれるようになりました。徳川家康は駿府城と清水湊までを結び、清水湊は徳川の軍港でもありました。

歌川広重「東海道五捨三次之内　江尻」

清水湊のはじまり

徳川家康の大御所時代、清水は大半の地が幕府領でした。当時の清水湊は巴川下流にあり、廻船問屋が活気のある活動をしていました。蔵屋敷や貯木場が設けられ、それを警護する武士、商人達が行き交う湊町として発展していました。

駿府の外港、**遠州灘の避難港**としても大きな役割を担うようになりました。

初夢で見ると縁起の良いものとされる、**「一富士、二鷹、三茄子」**。この言葉は、天下人徳川家康にあやかり、徳川家康が好んだ駿河の名物を順に挙げたものと言われています。

崇高な**富士山**の気高さを愛した徳川家康は、**鷹**のように強い鳥を武士のシンボルとし、暖かい三保産の**折戸茄子**を大好物としていました。

甲州廻米置場跡石碑

甲斐国一円の年貢米は、富士川を船で下り清水湊の甲州廻米置場に運ばれ、ここから江戸浅草蔵前まで弁戝船によって運ばれました。なぜ甲州街道を運ばれなかったのでしょうか。それは馬一頭に四俵が精一杯で五万俵以上の年貢米を運ぶには大変な数の馬と馬方を必要としたからです。莫大な時間もかかることを思えば、遠回りでも廻船を利用する方がはるかに**スピーディーで経済的**でした。

安政の時代から残る元廻船問屋

駿府を支えた清水湊

将軍職を秀忠に譲った徳川家康が駿府に居住したことで、清水湊は商業港・海の宿場としても発達しました。駿府城の修築・修理のための石材をはじめ多くの物資が**巴川**を上って、駿府城まで運ばれました。

一六一四(慶長十九年)の大坂冬の陣の時、清水湊の商人たちが御用を勤めて湊を守り、徳川家康から四十二軒の廻船問屋に営業の独占権が与えられました。これは商業活動のほかに沿岸警備や海難事務にもあたらせるもので、**清水**は近在の各湊から小廻船で運ばれる物資を大型船に積み替える中継基地としても大いに賑わいをみせました。

薩摩土手は、駿府城整備、拡張に伴う工事の一環として築堤されています。徳川家康は全国の諸大名を動員し「天下普請」として工事に参加させました。

その中でも島津忠恒は、五〇〇石積みの船一五〇艘に石や材木を積んで**清水の湊**まで運んだとされています。

一六〇七(慶長十二年)現在の清水区村松の三つ山の地には、御船蔵が建てられ徳川家康の召船である「長永丸」を停泊させていました。その後、船蔵は一六二〇年(元和六年)に入江の片羽（現在の清水区上一丁目の八雲神社周辺）に移りました。

家康公四百年祭

【徳川家康の生涯】

時代：戦国時代 - 江戸時代前期

1542(天文11)年
三河国岡崎城主、松平広忠の長男として誕生。

1560(永緑3)年　19歳
岡崎城に入る。

1586(天正14)年　45歳
秀吉の妹、朝日姫と結婚。居城を駿府城に移す。

1605(慶長10)年　64歳
将軍を辞任し、大御所となる。

1615(元和元)年　74歳
大坂夏の陣で豊臣家を滅ぼす。

1616(元和2)年　75歳
薨去。久能山に埋葬される。

発行：国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所
TEL：054-352-4148

資料提供：清水道中記　静岡市清水区役所地域総務課
公益財団法人静岡観光コンベンション協会
協力：　フェルケール博物館　学芸部長　樽原靖弘

徳川家康が育ち、愛した湊まち「清水」

徳川家康は「駿府（現在の静岡市）」で人生の約3分の1を過ごした。　伝説やエピソード

①草薙神社
1590年(天正18年)に徳川家康が、社殿を修築し、50石を寄付しました。
また、元禄年間より龍勢が奉納されています。

②稚児橋 巴川の河童
1611年(慶長１６年)９月、巴川に橋が架けられ、老夫婦が渡り初めをしようとしたところ、突然巴川から童子が現れ、入船町の方に歩き去ったことから、この橋を稚児橋(別名河童橋)というようになりました。

③三ツ石 巴川製紙工場内
この石は、徳川家康が駿府城を築くため、西国大名たちが献上したもので、運搬途中に巴川に落ち、「落城」に繋がるとして、築城には利用されませんでした。

④江浄寺
江浄寺は謀反の疑いをかけられ自害した徳川家康の長男(信康)の遺髪が埋葬されています。また、外交・寺社政策のブレーンとして知られる金地院崇伝直筆の書状が見つかりました。

⑤三保
三保の貝島御殿は、富士山の雄大さを楽しめる最高の場所にありました。近くには三保松原があり、「日本三大松原」の1つとして、親しまれています。

⑥下清水八幡神社
1609年(慶長14年)徳川家康10男頼宣が、父家康の為に下清水に造営した御浜御殿の石碑を建てたものです。現在の清水聖母保育園が建てられているあたりに御殿はありました。

⑦清見寺
清見寺と徳川家康は縁があり寺の裏庭も憩いの場として活用していました。徳川家康が継ぎ木をしたといわれる臥龍梅などが残されています。また、幼少時代には住職から、教育を受けた手習いの間が残されています。

⑧海長寺 朱印の椿
徳川家康が1582年(天正10年)に、武田氏に敗れ、清水区村松にある海長寺の椿樹の陰に隠れて助かったという話があります。当時は海上寺で江戸時代に海長寺と改めました。

⑨江尻城 江尻城記念碑
1569年(永禄12年)、武田信玄の命により巴川の江尻に築城されたのが江尻城です。現在は、清水江尻小学校内に江尻城記念碑が建っています。

⑩薩摩土手
徳川家康は、駿府城拡張工事に伴い、全国の諸大名を動員し、「天下普請」として工事に参加させました。

⑪志みづ道
志みづ道は江戸時代、駿府の外港清水湊と東海道を結ぶ道でした。駿府の物資は陸送と水運により運ばれていました。

⑫林香寺
徳川家康は、鷹狩りの際に立ち寄った当寺で出された山椒を浮かべた冷水をお気に召し、毎年駿府城と江戸城に献上するように命じました。

発行: 国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所　TEL:054-352-4148

航空写真で見る清水港の変化

昭和22年(1947年)

昭和36年(1961年)

昭和56年(1981年)

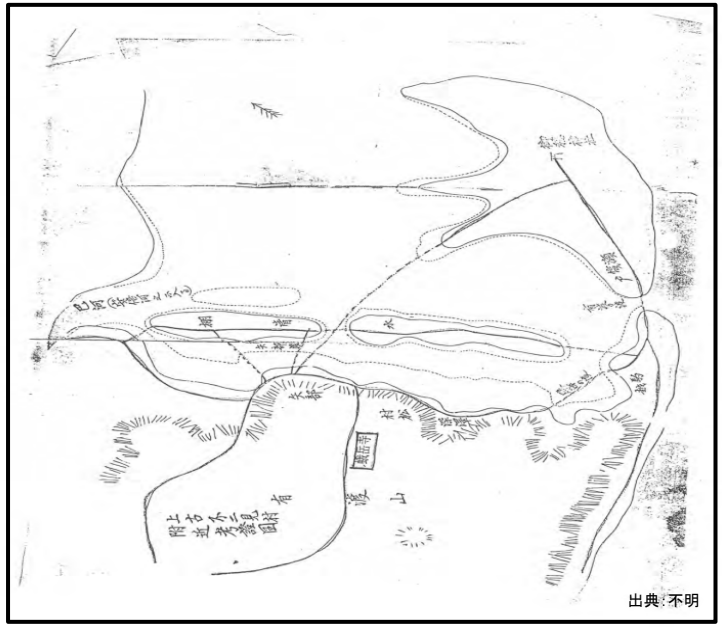
昭和62年(1987年)

平成16年(2004年)

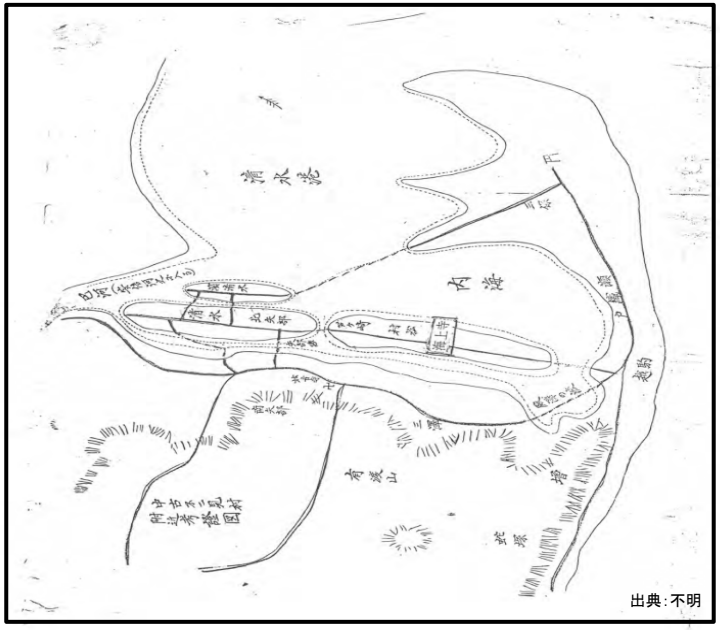
平成26年(2014年)

発行: 国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所　TEL:054-352-4148

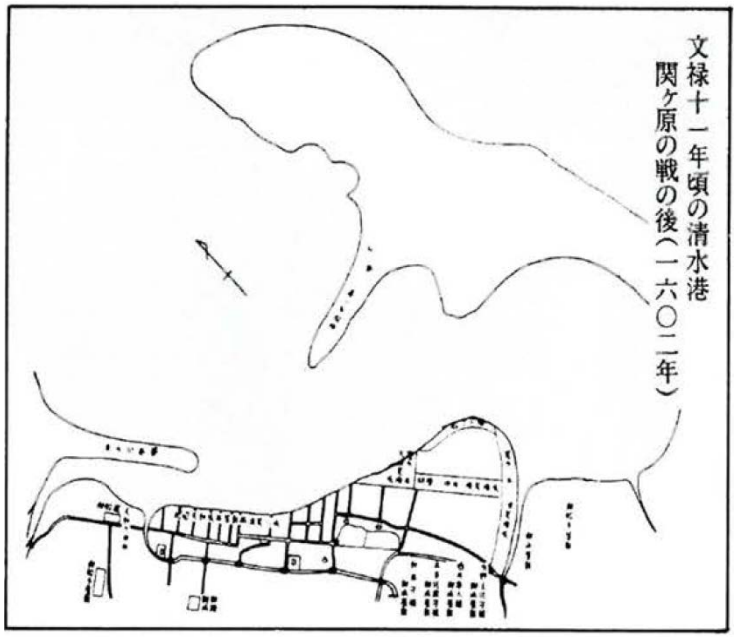
地図で見る清水港の変化



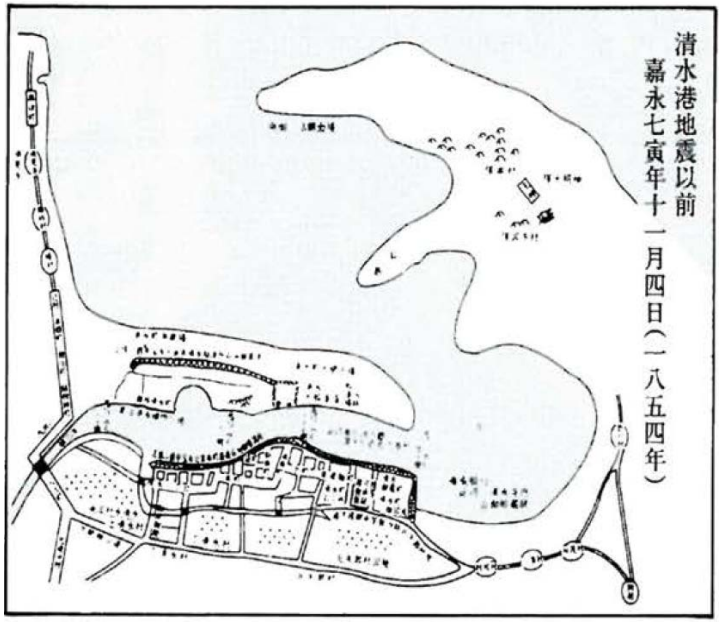
出典:不明



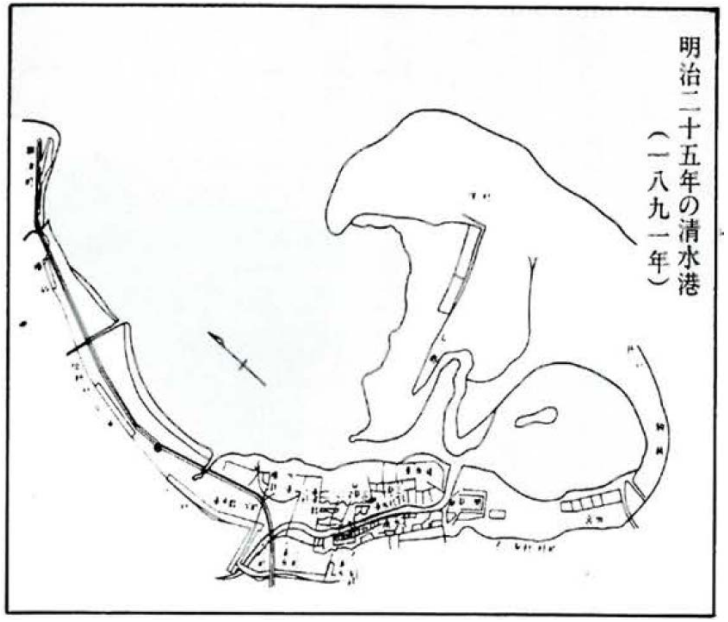
出典:不明



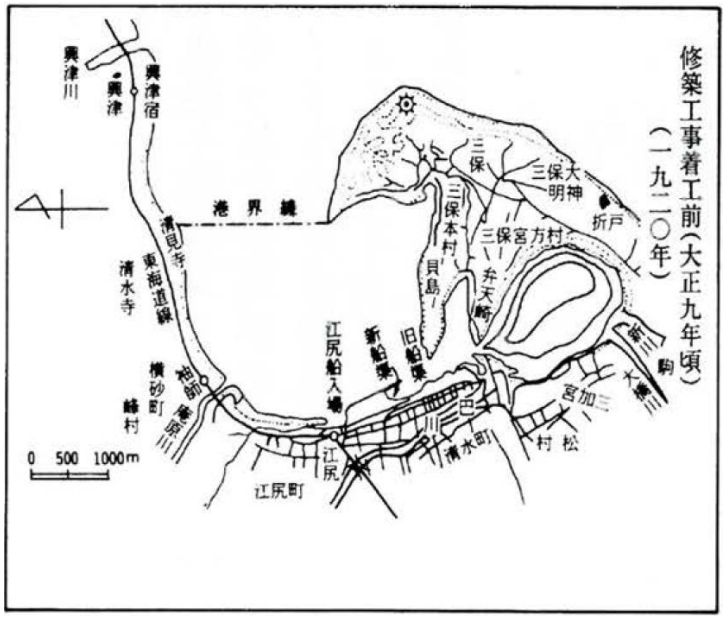
文禄十一年頃の清水港
関ヶ原の戦の後(一六〇二年)



清水港地震以前
嘉永七寅年十一月四日(一八五四年)



明治二十五年の清水港
(一八九一年)



修築工事着工前(大正九年頃)
(一九二〇年)

発行：国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所　TEL:054-352-4148

昔の清水港の様子

出典：清水港開港100年史　99ページ

①興津海岸

清見潟には岩場があり、四季を通して釣り人で賑わった。海水浴は東京方面からの客が多かった。大正初期。

出典：清水港開港100年史　97ページ

②袖師海水浴場

国鉄の袖師駅が開設され、最盛期には1日10万人の客が押し寄せた。しかし第二次大戦後、臨港道路の建設が始まり、終幕。大正末～昭和30年代

出典：清水港開港100年史　97ページ

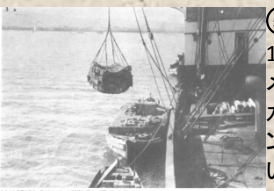
③江尻海水浴場

今の漁民会館がある辺りは、何軒もの席亭が立ち、駅に直結する海水浴場として人気を集めた。大正初め～大正末頃まで。

出典：清水港開港100年史　54～55ページ

④魚市場

1907年代(明治40年代)は、清水港は「漁港」として、全国屈指の良港だった。アジ、サバなどを水揚げする魚市場が巴川沿岸にあった。



出典：清水港開港100年史　70～71ページ

⑤ミカンの輸出

1884年(明治17年)からアメリカに輸出。大正2年清水港からの輸出品目別ランキングでミカンは茶についで2位へ。

出典：清水港開港100年史　50ページ

⑬国鉄清水港線

1908年(明治41年)5月、江尻－清水港波止場を結ぶ鉄道が静岡鉄道㈱より営業開始。その後、静岡・清水間の営業を開始した。写真は1908年(明治41年)7月。

出典：清水港開港100年史　58～59ページ

⑫最勝閣

1910年(明治43年)、木造3階建ての洋館。大正末期まで人々に親しまれていた。

出典：清水港開港100年史　58～59ページ

⑪羽衣橋

1910年(明治43年)～1921年(大正10年)、巴川河口付近と三保を結ぶ全長518mの木造橋があった。現在は、港湾道路の一部として巴川河口に架設されている。

出典：清水港開港100年史　88～89ページ

⑩木材の輸入

1919年(大正8年)に木材の輸入が本格化し、初めてロシア沿海州から北洋材が入るようになる。清水港の木材輸移入額が急増。

出典：清水港開港100年史　85ページ

⑥茶の輸出

茶の輸出は、1906年(明治39年)から馬車で運ばれていた。1918年(大正7年)、茶の輸出額は、これまでの最高を記録し、海外にも茶の輸出として知れ渡るようになった。

出典：清水港開港100年史　28～29ページ

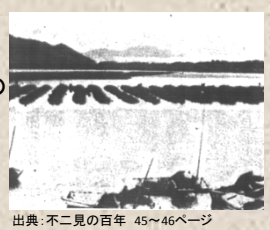
⑦波止場

明治初期、清水港に防波堤が築かれた。1878年(明治11年)、波止場会社が設立され、石垣で築かれた波止場が造られた。写真は静岡在住中の徳川慶喜が1887年(明治20年)に撮影したもの。

出典：清水港開港100年史　28～29ページ

⑧巴川

1878年(明治11年)波止場会社が設立され、波止場の築造と巴川の港橋は落成式が行われた。1879年(明治12年)6月、外海港としての清水港がスタートした。写真中央左手の二階屋は次郎長の住居。



出典：不二見の百年　45～46ページ

⑨折戸湾で海苔・真珠・牡蠣の養殖

海苔：1825年頃(文政8年頃)－1941年頃(昭和16年頃)

牡蠣：1987年(明治30年)－1952年頃(昭和27年頃)

真珠：1946年(昭和21年)－1963年頃(昭和38年頃)

発行：国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所　TEL:054-352-4148　　協力：フェルケール博物館　学芸部長　椿原靖弘

現在の清水港の様子

海上視察コース
港湾区域 ：1268 ヘクタール
東京ドーム270個分
ベイプロムナード：長さ 28.2m
幅 9m
重さ 193トン
清水灯台
白灯台
三保防波堤
三保地区
赤灯台
外港防波堤
清水真崎灯台
三保ケーソンヤード
三保海水浴場
メガソーラーしみず
日本軽金属株式会社(清水工場)
JFEソーラーパワー
アイ・テック株式会社
富士化工株式会社(清水工場)
人工海浜(予定)
新興津国際コンテナターミナル
新興津地区
興津第一埠頭
興津地区
興津第二埠頭
興津国際流通センター
(FAZ事業)
貝島地区
塚間地区
廃棄物処理場
カナサシ重工
折戸マリーナ
折戸湾
折戸地区
袖師第一埠頭
袖師地区
袖師第二埠頭
江尻埠頭
清水LNG株式会社
日の出埠頭
富士見埠頭
富士見地区
巴川
静岡市岸壁
望星丸
江尻地区
エスパルスドリームプラザ
清水魚市場河岸の市
株式会社J-オイルミルズ
日の出地区